



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 サイボー株式会社

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,901	△7.9	505	△22.5	584	△15.4	284	△32.0
25年3月期第2四半期	4,235	△7.4	652	△5.9	690	7.5	418	9.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 298百万円 (△16.8%) 25年3月期第2四半期 358百万円 (1.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21.29	21.25
25年3月期第2四半期	31.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	25,933		14,463		49.4
25年3月期	25,498		14,257		49.1

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 12,813百万円 25年3月期 12,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,994	△5.7	1,029	△20.0	1,054	△19.7	615	24.5	46.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,000,000 株	25年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	648,240 株	25年3月期	648,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,351,760 株	25年3月期2Q	13,351,760 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧・復興が進む一方で、原油高等による先行き景気の不透明感が残るものの、この4月には日銀による「異次元緩和」、新政権による積極的な「経済の成長戦略」等が発表され、円安による輸出企業の業績回復や株式市況の上昇など景気への明るい兆しが見え始めました。そのような中で失業率や設備投資、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、当社グループにおける事業環境は、急激な円安による仕入れコストの増加や法人需要の回復の遅れから引き続き厳しい状況で推移いたしました。

① 繊維事業

原糸販売は、自動車関連やカーテン等産業資材用生地の生産基地である北陸地区の市況回復がみられ、レーヨンフィラメント糸の販売は増加傾向にあるものの、主力のポリエステル長繊維糸は、価格競争にさらされるなど、アクリル・スフ糸等の紡績糸を含め販売は低迷し、大幅な減収となりました。利益面では急激な円安により輸入コストが大幅に上昇し、厳しい販売競争の中、価格に転嫁しきれず減益となりました。

アパレル関係は、景気の先行きの明るさなどから、法人ユニフォームの直需先の開拓が進み、百貨店売上が少しずつ回復傾向にあり、スポーツ関連商品や販促用ノベルティ等堅調に推移して大幅な増収となりました。利益面では販売管理費が予想以上に膨らみ減益となりました。

カジュアル縫製品関係は、自社企画商品「ユミカツラ」と「ミュゼ ジョワイユ」を直接販売していく百貨店数が45店舗を超えて増やした効果が現れ、百貨店販売は大幅な増収となりましたが、量販店向けの企画商品や他社ブランドのOEM受注を縮小した結果、全体では減収となりました。利益面では利益率の低い量販店やOEMの縮小を図ったものの、百貨店の出店費用と販売員経費が嵩んで全体の売上が採算ベースに届かず、赤字となりました。下半期は、地方百貨店向けと首都圏百貨店向けの販売戦略を見直して収益の改善を図ってまいります。

刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、刺繍レースファッションの活発化による刺繍使い商品の競争が厳しく上半期は僅かに減収となりましたが、商品の粗利率の改善や経費削減に取り組み営業損失は縮小いたしました。

この結果、繊維事業の売上高は17億78百万円(前年同期比4.2%減)となり、営業損失は35百万円増加して54百万円となりました。

② 商業施設賃貸事業

「イオンモール川口前川」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と専門店が評価されるなど、高い集客力を維持しております。また「イオンモール川口」は、近隣住民の方が固定客として定着しており安定した状況であります。賃料収入面においては、一部の小口商業施設の賃貸物件が契約期間満了により僅かに減収となりました。利益面では、二つの大型商業施設の修理費用が減少して増益となり、商業施設賃貸事業は引き続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は11億36百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は6億13百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、引き続きゴルフ子供教室の人気に見られるように若年層の入場者は増加傾向が続いたものの、長引いた猛暑や近隣の同業他社のリニューアルオープンもあって、全体の入場者、売上高ともに前年に比べて減少し、節電などの経費削減に努めたものの減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は4億67百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は38百万円(前年同期比38.5%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、平成25年3月25日付で新たな入校生の募集を打ち切ったことから、大幅な減収減益となりました。なお、平成25年10月31日をもって閉校することを決定しております。

自動車板金塗装修理事業は、平成25年4月1日付でネッツトヨタ東埼玉(株)の100%子会社(株)NTワークスに事業移管いたしました。

当社のギフト事業部営業課の慶弔ギフト品販売は、長引くデフレ経済を背景に倹約や節約意識が続き施行規模の小口化や家族葬が増えたものの、施行数を増加させて売上は増収となりました。利益面では、施行数の増加による販売経費が嵩み僅かな減益となりました。ディアグリーン課の緑化事業は、主力の観葉植物のレンタル契約を増やして僅かに増収も、販売経費の増加により減益となりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般先の工事に注力し増収、利益面では利益率の高い工事が減少し減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は5億18百万円(前年同期比30.4%減)、営業損益は1億35百万円減少して87百万円の損失となりました。

以上の結果、当社グループ売上高は、39億1百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益は5億5百万円(前年同期比22.5%減)、経常利益は5億84百万円(前年同期比15.4%減)、四半期純利益は、埼玉興業(株)の自動車教習所事業の事業撤退損1億5百万円等を計上して2億84百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、有形固定資産の減価償却が進んだことによる減少があったものの、現金及び預金、有価証券が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ4億34百万円増加して259億33百万円となりました。

負債は、未払法人税等が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加して114億70百万円となりました。純資産は前期末の配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加して144億63百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加して37億25百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ5億23百万円増加して10億11百万円となりました。これは主に売上債権の回収や法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ76百万円減少して14百万円となりました。これは主に有価証券の取得による支出が増加した一方、投資有価証券の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ3百万円増加して2億35百万円となりました。これはリース債務の支払額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月17日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,279,850	3,775,132
受取手形及び売掛金	984,416	765,904
有価証券	310,881	1,134,311
商品及び製品	591,657	725,744
仕掛品	14,755	17,552
原材料及び貯蔵品	44,240	44,967
その他	268,330	194,634
流動資産合計	5,494,133	6,658,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,065,776	9,771,210
土地	5,294,270	5,302,520
その他(純額)	101,400	193,679
有形固定資産合計	15,461,447	15,267,409
無形固定資産		
	37,563	26,257
投資その他の資産		
投資有価証券	4,248,541	3,722,998
その他	284,754	284,452
貸倒引当金	△27,486	△25,736
投資その他の資産合計	4,505,808	3,981,714
固定資産合計	20,004,819	19,275,381
資産合計	25,498,952	25,933,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,687	502,739
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	12,903	248,865
賞与引当金	75,111	60,796
役員賞与引当金	5,850	2,925
その他	897,611	1,103,549
流動負債合計	1,667,164	2,128,875
固定負債		
長期借入金	805,000	700,000
退職給付引当金	187,783	167,587
役員退職慰労引当金	176,226	183,777
長期預り保証金	7,975,056	7,908,404
その他	430,015	381,867
固定負債合計	9,574,081	9,341,637
負債合計	11,241,245	11,470,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	861,395	861,395
利益剰余金	10,388,889	10,582,235
自己株式	△359,818	△359,818
株主資本合計	12,292,466	12,485,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,051	347,512
繰延ヘッジ損益	△25,671	△20,291
その他の包括利益累計額合計	231,379	327,220
新株予約権	26,332	27,007
少数株主持分	1,707,528	1,623,075
純資産合計	14,257,707	14,463,115
負債純資産合計	25,498,952	25,933,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,235,042	3,901,560
売上原価	2,823,247	2,628,244
売上総利益	1,411,795	1,273,316
販売費及び一般管理費	759,736	768,116
営業利益	652,058	505,199
営業外収益		
受取利息	11,573	12,214
受取配当金	34,022	43,974
持分法による投資利益	36,892	46,715
その他	26,141	32,022
営業外収益合計	108,630	134,928
営業外費用		
支払利息	49,519	42,689
有価証券運用損	15,449	—
その他	5,482	13,340
営業外費用合計	70,451	56,029
経常利益	690,237	584,098
特別利益		
投資有価証券売却益	3,000	—
事業用資産等譲渡益	—	39,151
特別利益合計	3,000	39,151
特別損失		
固定資産除却損	—	22,542
減損損失	—	38,841
環境対策費	—	56,000
投資有価証券売却損	10,936	—
事業撤退損	—	105,928
特別損失合計	10,936	223,311
税金等調整前四半期純利益	682,301	399,938
法人税、住民税及び事業税	207,445	253,167
法人税等調整額	34,705	△53,245
法人税等合計	242,151	199,922
少数株主損益調整前四半期純利益	440,149	200,015
少数株主利益又は少数株主損失(△)	22,114	△84,254
四半期純利益	418,034	284,270

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	440,149	200,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,831	72,343
繰延ヘッジ損益	2,980	5,379
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,341	21,011
その他の包括利益合計	△81,192	98,734
四半期包括利益	358,956	298,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339,247	380,111
少数株主に係る四半期包括利益	19,708	△81,360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682,301	399,938
減価償却費	364,924	329,676
減損損失	—	38,841
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300	△1,750
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,698	△14,315
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,275	△2,925
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,332	△20,196
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14,047	7,551
受取利息及び受取配当金	△45,596	△56,189
支払利息	49,519	42,689
持分法による投資損益 (△は益)	△36,892	△46,715
有価証券運用損益 (△は益)	15,449	△3,224
投資有価証券売却損益 (△は益)	7,936	△1,238
売上債権の増減額 (△は増加)	92,417	218,511
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△122,704	△138,129
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,576	37,051
その他	67,754	214,716
小計	1,079,094	1,004,292
利息及び配当金の受取額	52,085	62,973
利息の支払額	△49,174	△42,345
法人税等の支払額	△593,998	△13,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	488,007	1,011,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の売却による収入	70,000	148,100
有形固定資産の取得による支出	△85,723	△140,964
有形固定資産の売却による収入	200	599
投資有価証券の取得による支出	△474,804	△290,542
投資有価証券の売却による収入	337,520	319,227
定期預金の増減額 (△は増加)	56,436	64,447
貸付けによる支出	△7,000	△32,000
貸付金の回収による収入	10,000	12,000
その他	2,188	4,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,183	△14,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△650,000	△450,000
長期借入金の返済による支出	△105,000	△105,000
配当金の支払額	△90,925	△90,925
少数株主への配当金の支払額	△3,092	△3,092
その他	△32,436	△36,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,453	△235,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	165,369	762,065
現金及び現金同等物の期首残高	2,802,531	2,963,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,967,901	3,725,140

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,857,353	1,146,959	485,824	3,490,137	744,905	4,235,042	—	4,235,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	128,582	—	132,782	115,742	248,524	△248,524	—
計	1,861,553	1,275,541	485,824	3,622,919	860,647	4,483,567	△248,524	4,235,042
セグメント利益 又は損失(△)	△19,058	569,016	62,794	612,752	48,610	661,363	△9,304	652,058

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,778,506	1,136,960	467,697	3,383,163	518,396	3,901,560	—	3,901,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	128,582	—	132,782	86,500	219,282	△219,282	—
計	1,782,706	1,265,542	467,697	3,515,946	604,897	4,120,843	△219,282	3,901,560
セグメント利益 又は損失(△)	△54,525	613,774	38,602	597,851	△87,322	510,528	△5,328	505,199

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、収益性の低下及び今後の使用見込みが無くなったことにより、当第2四半期連結累計期間において、38,841千円の減損損失を計上しております。